

助成事業完了報告書

事業名:「第三の居場所」の開設運営支援
団体名:公益財団法人 長野県みらい基金
代表者名:高橋 潤
TEL: 026-217-2220
事業完了日:2020年3月31日

1.事業内容

- (1)現地支援チーム会議
- (2)地域への告知活動
- (3)研修会
- (4)NPO法人格取得サポート

2.事業内容詳細

(1)支援チーム会議・内容

- ・チーム構成メンバー構築

市町村、学校等を交えた情報共有・協力体制の構築・現地レベルでの県の支援対策の検討・実施を図ることを目的に現地支援チームを設置。チームリーダーは、各地域振興局副局長

- ・第1回目 支援チーム設置要綱をつくり、概要説明と今後の展開について協議し各拠点の支援体制を構築する。
- ・第2回目 進捗状況報告と課題を共有し具体的にサポートをする。

(2)地域への告知活動

- ・各拠点で現地説明会・見学会・オープニングイベントを実施し活動を告知した。
- ・行政からプレスリリース・チラシ配布することで拠点の存在を告知でき効果が上がった。

(3)研修会

- ・埼玉県戸田視察質の高い学習支援や居場所について学び、意識の共有を図った。
- ・社会的インパクト評価・ファンドレイジング研修では、起こしたい変化・成果を考え目指すべき成果を可視化して事業の価値を引き出し改善に生かすための評価を学んだ。

(4)NPO法人格取得サポート

- ・長野「にっこりひろば」令和2年3月19日取得完了
- ・諏訪「末広プロジェクト」令和2年3月19日取得完了

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

1. 2019年度「第三の居場所」の開設(4カ所)
2. 2019年度に開設する「第三の居場所」の運営支援(4カ所)

【目標の達成状況】

- ・2019年度11月までに「第三の居場所」4カ所を滞りなく開設し終えた。
- ・開設した「第三の居場所」4カ所の運営支援を行った(詳細は別紙2を参照)

4.事業実施によって得られた成果:

<最終目的(中長期目標)2022年4月以降>

- ・子どもの貧困対策「第三の居場所」家庭・学校以外の子どもの居場所を設置するにあたり、長野県内4カ所における地域の特性、特徴を活かした取り組みを支援し、4年後の自立を促した。

5.成功したこととその要因:

- ・行政、住民、関係団体による現地支援チームを設置し課題を検討できた。

6.失敗したこととその要因:

- ・なし

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応:

事業成果物:
事業報告書